

授業科目名称 : ソーシャルワークの理論と方法（精神）Ⅰ 授業コード： 41021

授業科目英文名称 : Social Work Theory and Methods (Mental Health)
Ⅰ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
前期	3	2	選択	
担当教員				
丸山貴志（実務経験のある教員）				
展開方法	講義			
ナンバリング	DE302			
添付ファイル				
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法	評価比率
専門力	精神保健福祉士の専門性と倫理について、説明することができる。		定期試験	60%
情報収集、分析力				
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を適切に伝えることができる。		ディスカッション内容	10%
協働・課題解決力	ストレングスに基づく個別支援計画をたてることができる。		個別支援計画	15%
多様性理解力	事例について、情報を収集・分析し、ケアマネジメントに基づくプランを正確に説明することができる。		課題レポート	15%
出席			受験要件	
合計			100%	

授業のねらい	この授業の目的は、精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることを目的とし、次の3点を授業のねらいに据えている。 ① 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。② 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。③ 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について具体的に学ぶことも重視する。			
アクティブラーニングの類型	①⑤⑥⑩			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	定期試験は60%で、精神保健福祉士の専門性と倫理について、正確に説明することができるかを評価する。課題レポート15%では、事例を分析し、支援の方法について説明することができるかを評価する。課題レポートは、授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、個別支援計画の作成15%、ディスカッション内容10%で評価する。すべての提出物は、次の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。			
授業概要	精神保健福祉士の理念と意義、支援の展開過程、他職種連携についての学びなどについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。受講生は、ソーシャルワーク実習（精神）において、個別支援計画を立てることとなっており、自分が支援計画を立ててもらい立場になることを通じて、ケアマネジメントのあり方について検討していく。担当教員は、精神保健福祉士として医療機関の精神科で医療相談やソーシャルワークなどで実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。			
教科書・参考書・指定図書	教科書：最新・精神保健福祉士養成講座「ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）」中央法規 参考書：授業内で指示する。 指定図書：最新・精神保健福祉士養成講座「ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）」中央法規			
授業外における学修及び学生に期待すること	①授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 ②出席は最低限のルールとする。 ③授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。			
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	1	オリエンテーション ソーシャルワークの構成要素	授業の概要、進め方、評価等を確認する。 ソーシャルワークの構成要素について学ぶ	予習：教科書第1章第1節を読む。 復習：配布資料を読む。
	2	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要①	ソーシャルワークの展開過程について学ぶ	予習：教科書第1章第2節を読む。 復習：展開過程をまとめる。
	3	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要②	精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの基本的視点について学ぶ	予習：教科書第1章第3節を読む。 復習：配布資料を読む。

4	<u>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程①</u>	アウトリーチについて学ぶ	予習：教科書第2章第6節を読む。 復習：アウトリーチについてまとめる。
5	<u>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程②</u>	インテーク、アセスメントについて学ぶ	予習：教科書第2章第2節第3節を読む。 復習：配布資料を読む。
6	<u>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程③</u>	援助関係の形成技法について学ぶ	予習：教科書第2章第1節を読む。 復習：配布資料を読む。
7	<u>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程④</u>	面接技術とその応用について学ぶ	予習：教科書第2章第4節を読む。 復習：面接の構造についてまとめる。
8	<u>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程⑤</u>	支援の展開について理解する（人、環境へのアプローチ）	予習：教科書第2章第7節を読む。 復習：配布資料を読む。
9	<u>精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程⑥</u>	支援の展開について理解する（ケアマネジメント）	予習：教科書第2章第8節を読む。 復習：配布資料を読む。
10	<u>精神保健福祉分野における家族支援の実際①</u>	精神障害者家族の課題について学ぶ	予習：教科書第3章第1節を読む。 復習：配布資料を読む。
11	<u>精神保健福祉分野における家族支援の実際②</u>	家族理解の変遷について学ぶ	予習：教科書第3章第2節を読む。 復習：家族の自助グループについてまとめる。
12	<u>精神保健福祉分野における家族支援の実際③</u>	家族支援の方法について学ぶ	予習：教科書第3章第3節を読む。 復習：配布資料を読む。
13	<u>多職種連携・多機関連携①</u>	連携の意義と目的について学ぶ	予習：教科書第6章第1節を読む。 復習：配布資料を読む。
14	<u>多職種連携・多機関連携②</u>	多職種連携・多機関連携の留意点	予習：教科書第6章第2節を読む。 復習：連携についてまとめる。
15	まとめ	全体を振り返り、学びを深める	定期試験に向けた準備と復習を行う。
16	定期試験		